

テーマ3：個人情報保護しよう

1. 下記のことについて、自己評価し、自分の課題を書きましょう。

Yes No

- 所属における個人情報の管理保管がどのようになっているか理解している。
- 個人情報を目的外に利用したり、無断で学校外に持ち出すことはない。
- やむを得ず学校外へ個人情報を持ち出す際には、管理職への報告等決められた手続きを守り、常に最善の方法で携帯している。また、自動車の中等に放置することはない。
- 机の上、コピー機・パソコンの周辺等に個人情報を放置することはない。
- パソコンには、ウィルス対策ソフト等によるセキュリティ対策を講じている。
- Winny (ウニ-) などの個人情報の漏洩につながるファイル交換ソフトを、パソコンにインストールしてはいない。
- 学校、児童生徒、保護者等の職務上知り得た秘密を安易に飲食店等で話題にしたり、家族等に漏らしたりするようなことはない。

【自己課題】

2. 個人情報の保護について、同僚と話し合い、互いに支え合うこと、自分自身が気をつけることを決めましょう。

【互いに支え合うこと】

【自分自身が気をつけること】

参 考 資 料

<ケース・スタディー>

1. 次のような場合について、問題点を話し合ってみましょう。

【個人情報の盗難（被害）】

《事例》

A教諭は、学期末の成績処理のため、勤務時間を過ぎても学校に残りパソコンで仕事をしていたが、家庭から連絡が入り、急いで帰宅しなければならない状況となった。そこで自分の USB メモリーに成績データを入れて退校したが、帰宅途中で買い物のために寄ったスーパーの駐車場で、買い物をしているわずか10分間に、自家用車から USB メモリーの入った鞆を盗まれてしまった。

2. 問題点の整理

一番問題なのはどれでしょうか。

- ①鞆を盗んだ犯人
- ②個人情報を学校外に持ち出したこと
- ③個人の USB を使用したこと
- ④情報を車に置いたままにしたこと

個人情報の管理が不適切である場合は、たとえ盗まれた場合でも「被害者」から「加害者」になってしまいます。やむを得ず学校外に個人情報を持ち出す場合は、決められたルールに則り、危険性を十分認識した上で、慎重に扱う必要があります。

また、USBメモリーに入れるデータは、暗号化しましょう。

3. この事例をさらに（イメージしてみよう）そして（話し合ってみよう）

- 自分の車に戻って大事な鞆がないとわかった時、まず誰に（どこに）連絡をしますか。
- 保護者への説明・謝罪などの事後対応は、どのように行いますか。
- 子どもたちへの説明・謝罪は、どのような場面で、どのように話しますか。
- どのようにして個人情報を取り戻しますか。
- 個人情報の漏洩（ろうえい）について、次のようなケースではどのように対応しますか。
 - ①個人情報が自宅パソコンから流出し、インターネット上に出てしまった。
 - ②職員室の自分の机に置いておいた USB メモリーが紛失してしまった。
 - ③個人情報をまちがった番号に FAX してしまった。
 - ④試験の答案を自宅で採点しようとして持ち出したところ、コンビニの駐車場で鞆ごと盗まれてしまった。